

<みよみよ はればれ まんなか>

美花果便り

Vol.60

都筑の町のほほまんなかで

～その 60～

訪問看護で利用者さんのお宅にお伺いすると、ペットを飼っているお家があります。犬や猫、小鳥、金魚、亀、など様々な生き物たちが共生しています。訪問したときに出会うと、ペットさんにも挨拶をするようにしています。

猫を飼っているお宅も多く、猫の性格によって色々違うことも教えていただきます。猫は本来臆病で警戒心が強いようで、「誰か来た?」というふうに様子をうかがうことはあっても、飼い主以外に近寄ったり、甘えたりはあまりしないようです。それでも毎週決まった曜日決まった時間にやってくる看護師を覚えるのか、だんだんと慣れてくれます。

ある時、利用者さんの具合が悪いので、来てほしいと言われて看護師が訪問したら、玄関を開けるとそこに猫さんが待ち構えて「にゃ～にゃ～にゃ～(〇〇さんが大変なの早く見て!)」と訴えていたそうです。それは大変とお部屋に行くと、横たわる利用者さんの枕元には、また別の猫さんが心配そうに見守っているではないですか。日ごろ可愛がってくれる飼い主さんの一大事に、猫さんたちもサポートしていることに感心したそうです。

最近も訪問看護に行くと、対話に参加してくれる黒猫さんがいます。どれどれといったふうに布団から起きて、利用者さんのそばに行き甘えながら参加してくれます。

「看護師さん、うちの〇〇さんの事よろしくね。ちゃんとお話聞いてよ!」

そう言われているようで、猫さんの視線に少し緊張してしまいます。

松田

みよみよ看護

【訪問看護ステーション】



お待たせしました。
5月開始の新規を
お受けできます!

住所: 〒224-0033

横浜市都筑区茅ヶ崎東 4-9-18

電話: 045-949-6277

FAX: 045-949-6278

メール: miyomiyo@ni-care.jp ホームページ: <http://www.ni-care.jp/>

「看」という文字は、手をかざしてよく見るという意味合いがこめられています。

中国の禅僧が我々の中に存在する宝を見極めよ、という意味で「看看(みよみよ)」と叫んでいるところから名前をつけました。

皆様の心の中にある宝物を大切に、お家での生活を支えます。

【 4月です！新生活のスタート 】

皆さまいかがお過ごしでしょうか？我が家では次女が新1年生になりました。以前にも書いたような気がします、今回はランドセルの話です。長女はあっさり即決でしたが、次女はまったく逆で、なかなか決まりませんでした。こちらの色がいい、形が違う、やっぱりこっちの方が可愛いと、見れば見るほど迷ってしまう様子で、なかなか決まらず……



お店でこれと決めても、家に帰ると気持ちが変わることもあり、本人の中でじっくりくものが見つからない様子でした。

ようやく気に入ったものが見つかり注文したのですが、今度は実物がなかなか届きません。長女のときは秋には届きましたが、次女のランドセルは年が明けても音沙汰がなく、2月の終わりになってやっと届きました。箱を開けて実物を見たときの次女の、とてもうれしそうな顔が印象的でした。

近年では3月中に桜が満開になることも多く、春休み中に桜の前でランドセルを背負って写真を撮るご家庭をよく見かけます。春の訪れも早まっているように感じますね。大きなランドセルを背負った姿を見ると、新しい生活が始まるのだなと実感します。

ランドセル選びは、早いご家庭では幼稚園年長さんの4月からゴールデンウィークまでに決めてしまうことも多いようです。一方で、時間をかけて選ぶ形でも、「これがいい」と納得できるものに出会えば、それも一つの良い選び方だと感じました。長女とは違った意味で、印象に残る“ラン活”になりました。子どもによって選び方もペースもまったく違い、それぞれの成長の過程を見ているようでした。

このお便りが出るところには、すでに入学式も終え、姉妹そろって登校していることでしょう。新しい環境の中で、少しずつ生活のリズムを作りながら、元気に楽しく過ごしてほしいですね。皆さまにとっても環境の変化が多い時期かと思いますが、無理をなさらず、体調に気をつけてお過ごしください。

理学療法士 麻生 由朗



風に吹かれて

桜が咲くと、空気がふんわりやわらかくなる。淡い花びらは風に揺れながら、春の訪れを静かに知らせてくれ、春の光をそっと集めて心まであたためてくれる。

満開の美しさも、散る瞬間のはかなさもどちらも心にそっと触れてくるさあ、やって来ました。短い間ですが立ち止まって優しい春の景色をゆっくり楽しみましょう

小春日和